

年	できごと
1897 (明治30)	札幌農学校(現北海道大学)調査団入地して地質調査を行う。
1898 (明治31)	札幌農学校第八農場を設け看守所を開く(学田一区)。
1899 (明治32)	国有林23,794町歩東京帝国大学農学部配属される。 山部に中内弥重吉が入地。(食料品店開店、山部駐車場の建築請負。) 札幌農学校の開発施業計画が立てられる。
1900 (明治33)	下富良野～鹿越間の鉄道開通。山部駅営業開始。 東京帝国大学総長菊地大麓、演習林内を視察。
1901 (明治34)	山部駅開業。 橋本長吉・河原秀吉・登友吉の3戸が入地し開拓が始まる。
1902 (明治35)	呉服店・雑貨店が開業し市街地らしい形がとられ始めた。
1903 (明治36)	東京帝国大学演習林が立木の払下げを始める。
1904 (明治37)	山部市街地に簡易教育所が設置。山部中央地区、山部北星地区に初期入植者入地。
1905 (明治38)	山部の戸数が百戸となる。真宗大谷派の説教所開設。
1906 (明治39)	山部簡易教育所を山部尋常小学校と改称。山部神社社殿造営。鉄工所開設。
1907 (明治40)	真宗本願寺派の説教所開設。料理屋が開業。
1908 (明治41)	水稲の試作を行う。薬屋・小間物屋・魚屋・浴場などが開業。
1909 (明治42)	山部郵便局設立。
1910 (明治43)	山部小学校の第一分教場開設。山部巡査駐在所設置。
1911 (明治44)	山部小学校の第二分教場開設。澱粉製造のため、3工場開業。
1912 (明治45) (大正元)	尋常小学校を尋常高等小学校と改称。医院開業。製材工場開設。運送店・劇場が開業。
1913 (大正2)	東京帝国大学演習林派出所庁舎を山部市街地に移設。 富良野～滝川間の鉄道開通で、山部から滝川まで直通する。
1914 (大正3)	山部市街地2丁目で大火、用水路なく商店街全焼する。
1915 (大正4)	山部村が分村し戸長役場が置かれる。山部村役場庁舎を建設。曹洞宗説教所開設。
1916 (大正5)	3組の私設消防組を組織。
1917 (大正6)	天理教宣教所が開設。
1918 (大正7)	公設山部消防組合認可。水田用かんがい溝掘削。防火用水路工事着工。
1919 (大正8)	北海道に二級町村制施行、二級村となる。山部村議会議員12人の選挙が行われる。
1920 (大正9)	大本教山部分会所開設。
1921 (大正10)	北海道帝国大学農学部の指導で300町歩の開田事業開始。
1922 (大正11)	大洪水で田畑の被害甚大。木工所開業。
1923 (大正12)	北海道帝国大学第八農場が空知川の護岸工事に着手。
1924 (大正13)	山部市街地に電灯がつく。
1925 (大正14)	牝牛40頭が導入。山部市街地に忠魂碑建設。御料地(現28線地先)農家に払下げられる。
1926 (大正15) (昭和元)	山部郵便局、電信電話業務事務取扱開始。家畜診療所開設。